

平成14年度 和歌山県文化功労賞

にし ばやし しょう いち
西林 昭 一 (号 悠介)

住 所：東京都練馬区

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：昭和7年

◎業績及び経歴

昭和7年、和歌山市生まれの氏は、終戦とともにかつらぎ町に居を移した。昭和32年に大東文化大学文政学部中国文科卒業後、私立正則商業高校教諭、跡見学園中、高校教諭、跡見学園女子大学文学部教授、淑徳大学国際コミュニケーション学部大学院教授等を歴任し、教鞭をふるってきた。

この間、氏は、金石学、書学書道史の研究に並々ならぬ情熱を注ぎ、その成果として、この分野に関する氏の著作は優に100を超え、「書譜」、「翁方綱の書学」、「中国新出土の書」、「中国新発見の書」、「書の文化史(上・中・下)」その他を公刊した。

氏は学会活動にも重きを置き、平成2年から平成12年まで書学書道史学会理事長を務め、就任中の平成12年には学会主催の第4回国際書学研究大会で自ら「日本における漢字の受容と書の形成」のテーマで基調講演を行い、大成功に導いた。また、日本中国学会、東方学会にも所属し、意欲的に研究を推進している。

一方、昭和62年から平成8年まで文部省教科用図書検定審議会委員を務めるとともに、書家としても日展入選6回を数え、その才能を遺憾なく発揮している。

氏のこれまでの先駆的な研究による業績なくしては我が国の金石学、書学書道史の発展を語ることができないものであり、永年にわたり文化の発展に大きく寄与した功績は多大である。

■現在

跡見学園女子大学名誉教授

日本中国学会会員

東方学会会員

■主な表彰歴等

平成7年 毎日書道会書道顕彰(学術部門)